

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
70729	東南アジア文化研究B	2単位 後期 集中	1~2	講義	坂井 隆 (非)

■テーマ 東南アジアから見た沖縄文化 The Okinawan culture focused from Southeast Asia

■授業の概要

【ねらい】 沖縄との関連での東南アジアの文化芸術について基本知識の取得

【学問的範囲】 東南アジアの歴史・地理・文化史・宗教史・建築史・美術史（彫刻・陶磁器・絵画）

■到達目標

- ・東南アジア文化の多様性について具体的に説明することができる。
- ・沖縄と東南アジアの歴史的文化的つながりについて具体的に説明することができる。
- ・沖縄の文化的アイデンティティを東南アジアとの比較で説明することができる。
- ・個人経験に基づいて異文化へ関心を持ち理解することができる。

■授業計画・方法

1. 導入：マラッカのレケオ人（琉球船の目的地）
2. 東南アジア人文地理（言語・民族）
3. 東南アジア現代史概要（植民地化・独立戦争）
4. 東南アジア前近代史概要（インド化国家・貿易の時代）
5. 東南アジア海洋史概要（伝統帆船：ジャンク・ピニシ・ダウ）
6. 仏教文化1（大乘仏教：ボロブドゥール・バガン）
7. 仏教文化2（上座部仏教：スコータイ・ルアンパバーン）
8. ヒンドゥ文化1（寺院跡：プランバナナ・アンコール）
9. ヒンドゥ文化2（深い芸術伝統：ラーマーヤナとマハーバーラタ）
10. イスラーム文化（ピラミッド型木造モスク）
11. 服飾文化（緋・更紗）
12. 舞踊・舞台芸術（バリ・水上人形劇）
13. 陶磁貿易（元青花・タイの甕）
14. グスクと在地城郭（似た城郭：バターネス・ブトン）
15. まとめ：文化遺産とアイデンティティ（アンコールワット・首里城）

各講義は画像および動画上映を中心とした遠隔授業で行う。

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・最低限の東南アジアの地理知識（現在の国名・首都名・主要島嶼名・主要河川名）を事前に再認識する。
- ・東南アジアに関する高校の世界史・世界地理教科書は必ず読み直し、他に関連する文献・映像なども再度見る。
- ・東南アジアへの旅行経験がある場合は、そこで感じたものを説明できるように整理する。
- ・参考文献を一度は目を通す。
- ・日本語講義もしくは英語説明の理解力があること。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（15%）：授業への参加と質問状況 レポート（85%、A4 2枚程度）、問題は第3日第5時限に発表

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書

□テキスト

□参考文献 『世界美術大全集東洋編第12巻 東南アジア』、小学館、2001